

STYRIARTE

Die steirischen Festspiele

<始めに>

シュティリアルテは、オーストリアのシュタイアーマルク州で開催される夏の音楽祭で、「styriarte」とは、シュタイアーマルクを表すラテン語の「styria」と、芸術を意味するイタリア語「arte」を掛け合わせて考え出された言葉です。

<その歴史>

1985年に創立されたシュティリアルテ音楽祭(以下、シュティリアルテ)は、初年度、ヨハン・セバスティアン・バッハを中心に開催され、それからは毎年のプログラムを、モンテヴェルディ、ハイドン、シューベルト、モーツァルト、ベートーヴェン、メンデルスゾーン、と様々な作曲家に焦点を当てて行われました。1992年からは「夏の夜の夢」「空間と音」「破壊と路」「神話の軌跡」「とにかくクラシックに！」のように、それぞれテーマと関連付けられました。そして1998、99年は「失楽園?」「教えておくれ、愛よ」のテーマで、壮大なシリーズが新たに始められ、2003年のテーマ「音楽の力」とともに締めくくられました。

<意図>

シュティリアルテは、先駆的指揮者ニコラウス・アーノンクールを、彼の故郷グラーツに密接に結び付けています。当音楽祭では、アーノンクールを世界的スターにした彼の芸術認識が演奏基準とされており、これらは今日、私たちへ受け継がれた音楽遺産からは既に失われていた視点・観点との出会いを、新たに実現可能としてくれるのです。そして興味心ひきつけられる古楽へ、また、中世音楽からロマン派音楽への入り口ともなり、現代における多種多様性を反映させているといえましょう。

<音楽家>

ウィーン・コンツウエントウス・ムジクス、ニコラウス・アーノンクールが独創的な古楽演奏へと導くこのアンサンブルと並び、自らを優れた音楽団体として証明したのが、大変にダイナミックな演奏をするヨーロッパ室内管弦楽団です。同様に、ジョルディ・サヴァール、モザイク・カルテット、アルモニコ・トリブート・アウストリア、イル・ジャルディーノ・アルモニコなど、当代一流の古楽演奏家たちが常連として招かれています。

<環境>

シュティリアルテの紛れもなく素晴らしい点として、コンサートが開催される環境の魅惑的な雰囲気挙げられるでしょう。シュタイアーマルク州都グラーツの旧市街は世界遺産に登録されており、珍しいほどに良い状態で保たれています。至る所にみられる歴史的に有名な広場や建物は、音楽祭とともに忘れがたい思い出として残ることでしょう。

<シュティリアルテ>

シュティリアルテ音楽祭のプログラムは、当ホームページのドイツ語、または英語版をご覧ください。